

平成29年度行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	医療問題調査費			担当部局庁	医政局	作成責任者	
事業開始年度	平成13年度	事業終了 (予定)年度	終了予定なし	担当課室	総務課、地域医療計画課 救急・周産期医療等対策室	課長：榎本 健太郎	
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-			関係する計画、通知等	-		
主要政策・施策	-			主要経費	その他の事項経費		
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	我が国における医療体制の一層の質的な充実等を図るための検討を行う。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	我が国における医療体制の一層の質的な充実等を図るため、現在の医療体制の問題やあり方等について検討会を開催して、有識者を招聘し検討を行う。						
実施方法	直接実施						
予算額・執行額 (単位:百万円)		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度要求	
	予算の状況	当初予算	32	27	27	27	27
		補正予算	-	-	-	-	-
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-
		予備費等	-	-	-	-	-
	計	32	27	27	27	27	
	執行額	19	15	22	-	-	
執行率 (%)	59%	56%	81%	-	-		
当初予算+補正予算に対する執行額の割合 (%)	59%	56%	81%	-	-		
平成29・30年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	29年度当初予算	30年度要求	主な増減理由			
	庁費	13	13				
	諸謝金	10	10				
	委員等旅費	2	2				
	職員旅費	2	2				
	-	-	-				
	計	27	27				

成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標		成果指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 29 年度		
				成果実績	-	-	-	-	-	-		
				目標値	-	-	-	-	-	-		
				達成度	%	-	-	-	-	-		
根拠として用いた統計・データ名 (出典)												
定量的な成果目標の設定が困難な場合	定量的な目標が設定できない理由				定性的な成果目標と26～28年度の達成状況・実績							
	我が国における医療体制の一層の質的な充実等を図るため、現在の医療体制の問題やあり方等について随時検討会を開催して、有識者を招聘し検討を行い、課題の解決を目的としており、事前に問題を把握することが困難であり、定量的な指標を設定できない。				報告書の作成、制度改正への意見調整を行っている。平成26年度においては、医療法の改正があった。							
事業の妥当性を検証するための代替的な達成目標及び実績	代替目標		代替指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 29 年度		
	医療提供体制等の検討会で検討した議題数		総議題数	実績	-	20	28	53	-	-		
				目標値	-	30	30	30	-	30		
				達成度	%	66.7	93.3	176.7	-	-		
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標				単位	26年度	27年度	28年度	29年度 活動見込	30年度 活動見込		
	医療に関する検討会の開催数			活動実績	回	10	17	30	-	-		
				当初見込み	回	22	20	20	30	30		
単位当たりコスト	算出根拠				単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込			
	単位当たりコスト = X / Y			単位当たりコスト	百万円	1.5	0.9	0.7	0.9			
	X:「当該年度執行額」 Y:「当該年度検討会の開催数」			計算式	X/Y	19百万円/13回	15百万円/17回	20百万円/30	27百万円/30回			
政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策評価	政策 施策	施策大目標1 地域において必要な医療を提供できる体制を整備すること 日常生活圏の中で良質かつ適切な医療が効率的に提供できる体制を整備すること(施策目標I-1-1)									
			定量的指標				単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標年度 - 年度
		測定 指標				実績値	-	-	-	-	-	
						目標値	-	-	-	-	-	
		本事業の成果と上位施策・測定指標との関係										
	我が国における医療体制の一層の質的な充実等を図るため、現在の医療体制の問題やあり方等について、有識者を招聘し解決策等を検討することで、必要な医療提供体制を整備することができる。											
	改革 項目	分野:	-									
		(第一 KPI 層)	KPI (第一階層)				単位	計画開始時 - 年度	28年度	29年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度
						成果実績	-	-	-	-	-	-
						目標値	-	-	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	-	-			
(第二 KPI 層)		KPI (第二階層)				単位	計画開始時 - 年度	28年度	29年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度	
					成果実績	-	-	-	-	-	-	
				目標値	-	-	-	-	-	-		
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係												

事業所管部局による点検・改善

事業所管部局による点検・改善			
	項目	評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	地域の実情に応じた医療サービスの提供体制を構築することは、広く国民のニーズがあり、国費を投入しなければ事業目的が達成できない。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	地域の実情に応じた医療サービスの提供体制を構築することは、国が率先して行う必要があり、民間等に委ねることはできない。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	我が国における医療提供体制の一層の質的な充実を図るため、現在の医療体制の問題やあり方について有識者の意見を得ることは地域の実情に応じた医療サービスを提供するため優先度が高い。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-	
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無	
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	地域の実情に応じた医療サービスの提供体制を構築するための調査、検討に必要な経費に限定しており、コストの水準は妥当である。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	費用・使途については真に必要なものに限定して計上している。
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	△	当初の予定回数より議論が早くまとまったもの等により会議の開催回数が見込み回数より少なくなったため。しかしながら、昨年度より、執行率は大幅に改善した。
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-		
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	検討会等の開催において、費用がかからない省内開催を極力実施するようにし、費用節減に努めている。	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	-	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	当初の予定回数より議論が早くまとまったもの等により会議の開催数が見込みより少し少ないが、ほぼ見込みとおり。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	医療体制の問題やあり方等についての議論を行った資料等を公表し、また報告書等は各種政策に活用するとともに、HPに掲載することで、広く国民が活用できるようになっている。
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	
	所管府省名	事業番号	事業名
点検・改善結果	点検結果	不用は生じているが、平成27年度から平成28年度にかけて改善した。あるべき医療提供体制の構築に向けて、社会情勢の変化に応じ検討項目も増加する中、医療法改正などの制度改正へ向けた取組を着実に進めている。	
	改善の方向性	今後においても医療提供体制の構築の行く末や執行状況を勘案しながら予算計上を行っていく。なお、今国会において医療法の改正案を提出しており、改正案が認められた場合には、新たな医療法の規制等に関する検討のため、外部有識者を交えた検討会を実施し、あるべき医療提供体制の構築をして参りたい。	
外部有識者の所見			
引き続き会議の効率的な開催に務めつつ、更なる予算見積もりと執行率の改善に取り組んで頂きたい。(栗原 美津枝)			
行政事業レビュー推進チームの所見			
現状通り	外部有識者の所見を踏まえ、引き続き会議の効率的な開催に努めつつ、更なる予算見積もりと執行率の改善に取り組むこと。		

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

現
状
通
り

執行においては、引き続き、業務の効率化に努め、更なる執行率の改善に取り組む。また、予算要求に当たっては、新たな検討課題に取り組み、必要な予算額を確保することとしたい。

備考

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	38、41	平成23年度	33	平成24年度	34	
平成25年度	13	平成26年度	13	平成27年度	11	
平成28年度	11					

※平成28年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)

厚生労働省
22百万円

医療提供体制の一層な質的な充実等を図るための検討を行うために必要な経費



A. 事務費
22百万円

諸謝金、委員等旅費等

費目・用途 （「資金の流れ」に おいてブロックご とに最大の金額 が支出されている 者について記載 する。費目と用途 の双方で実情が 分かるように記 載）	A.期間業務職員			B.		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
	庁費	賃金等	5.5			
	計		5.5	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	期間業務職員(複数)	-	賃金等	5.5		-	-	
2	会議出席委員(複数)	-	会議出席謝金	5.1		-	-	
3	会議出席委員(複数)	-	会議出席旅費	2.3		-	-	
4	職員(複数)	-	調査等旅費	2.2		-	-	
5	株式会社ティーケーピー	7010001105955	会場貸出	1.4	随意契約 (少額)	-	100%	-
6	扶桑速記印刷(株)	9010001027784	議事録作成	1.3	随意契約 (少額)	-	100%	-
7	大和総合印刷(株)	6010001021699	資料印刷	0.9	随意契約 (少額)	-	100%	-
8	(福祉)友愛書房	1010002015390	図書販売	0.6	随意契約 (少額)	-	100%	-
9	独立行政法人国立印刷局	6010405003434	資料印刷	0.6	随意契約 (少額)	-	100%	-
10	公益財団法人全国市長会館	7010005018609	会場貸出	0.1	随意契約 (少額)	-	100%	-
11	東芝ソリューション(株)	7010401052137	配線等工事	0.1	随意契約 (少額)	-	100%	-

国庫債務負担行為等による契約先上位10者リスト

	ブロック名	契約先	法人番号	業務概要	契約額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (契約額10億円以上)
1	-	-	-	-	-		-	-	